

どろどろの人間ドラマの現場から 2019

「作家のマナビバ」とは？

人間の欲深い部分や事件を起こす人間が抱えた心の闇が浮き彫りになり、またその事件解決に関わったエキスパートたちの濃いキャラに魅力があふれることを改めて再確認しています。この人間臭さこそが、良質のドラマを生む源泉！ 「作家のマナビバ」は、机上で考えていたり、ネット検索だけでは見つからない、創作・企画のネタをみつける講座です。「生の現場」にしか起こらないエピソードを知って、既視感のある見飽きたドラマではなく、誰も描かなかったリアルなドラマを描いてみませんか？

作家のマナビバでは、「人間の欲がもたらした波乱万丈に富んだドラマ」をリアルに学んでいます。人間の欲には、金欲、物欲、性欲、食欲、出世欲、自己顕示欲、承認欲、強欲……いろいろ渦巻きますが、「なんで、こんな事になってしまったのか？」……とどのつまりは「だって人間なもの」そう！ 人間だからドラマは面白い！ 人間をとことん描くために、たくさんのネタと会いましょう！

八起会 初登場

第7回テーマは「倒産 110 番に学ぶ人生」。
世界初の倒産者の会『八起会』のみなさんに聞く
倒産・人生の失敗に学ぶ、心の再生、人生の再生
これぞ、ドラマ！ 既存の番組では描かれていない新ネタを学びましょう！

※八起会創設者・故・野口誠一氏(写真・右)の薫陶を引き継いだ八起会会員から、今回は2名の倒産・再生リアル現在進行形の体験談をお聞きます。



八起会創設者の故・野口会長は、25歳で玩具メーカーを設立し、わずか5年で年商12億円に成長させる。が、ドルショックと放漫経営がたたなり、1977年に倒産。自宅や工場などの全資産を処分して負債を処理し会社を畳んだ。翌1978年に、倒産経験者同士が助け合う『八起会』を設立。無料で電話相談に乗る『倒産110番』を開設。1983年、株式会社ノグチプランニングを設立し、執筆活動や全国各地で講演活動を展開。37年間の活動の中で、5万件以上の電話相談を受けた。(2009年に『カンブリア宮殿』に出演)

※今回は、八起会の代表、竹花利明氏がコーディネーターとなり、八起会がこれまで取り組んだ相談内容をはじめ、八起会会員2名が登壇し、現在進行形のリアルな体験談をお話します。

日時:2019年3月9日(土) 午後7時~8時30分(開場 午後6時30分)

会場:フォーラムエイト 506 号室 (Tel.03-3780-0008)

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル(ハチ公改札口から徒歩5分)

受講料: 3,500円(一般) 3,000円(学生) ※当日は500円増となります。

お申し込みは日本放送作家協会のウェブサイト(<http://www.hosakkyo2012.jp>)より